



夢っくすニュース

かわらばん U.MEX

今年もやりました！稲刈り体験ツアー



写真のイジョウ・チェンさんの体験レポートは夢っくすホームページにあります。

.....

第15号 10月号の目次:

夢っくす活動報告	1 p
各部会からのお知らせ	2,3 p
夢っくすカレンダー10月	4 p
会員紹介第14回	4 p
事務局だより	4 p

.....



井口会長も指導者として留学生に稲刈りを教えました。

夢っくすでは、縁あって米どころ魚沼に留学してきた学生達に農業体験をしてもらおうと昨年、初めて稲刈りツアーを企画しました。今年は広神村中家区の皆さまのご協力を得て実現することができました。農区長の桜井様ご一家には、新米のおにぎりやけんちん汁、もぎたての枝豆や色鮮やかななす漬をご馳走になり、学生達は思わぬ歓待に感激していました。このイベントの実現にご協力いただきましたすべての皆さまに心よりお礼申し上げます。以下、羽賀正道さんのレポートで報告します。

9月27日(土)の稲刈りツアーに参加させていただきました。予想以上の参加の希望があったとのことで、その盛況ぶりにまず驚きました。さわやかな秋晴れのもと、数台の車に分乗し出発。初めて北魚方面へ遠出をされる学生さんも多く、臨時の観光案内をしながらのミニドライブとなりました。さて、広神村中家(ちゅうか)地区に到着し、地元民ながらまず驚いたのが、「近くにこんな綺麗な農村風景が残っていたとは・・・」ということです。いかにも日本的農村の風景で、自分自身大変懐かしい気分となりました。外国からいらっしゃった皆さんに見ていただくのに本当にふさわしい場所であったと思います。さて、桜井さん一家にお世話になりながら、軍手だ、鎌だ、長靴だ、と支度をし、一枚の田んぼの四隅から刈りはじめました。その様子は一言でいえば「多彩と調和」でしょうか。様々な国から集まった様々な個性が一枚の田で作業をするということの意味は大変深いものがあると感じました。バングラデシュの女性はお国のサリーを着ながらの稲刈り、そのオレンジのサリー姿の美しかったこと。たいへん印象に残っています。バングラデシュやインドなどから来られた方々にうかがうと、稲かりの風景は同じだそうです。彼らの興味は「日本の田の単位あたりの収量はどの位か」または「一俵あたりいくら位の値段か」というような点で、盛んに桜井さんに質問されていました。コンバインなどの機械類の値段には目を丸くしていたようです。また、「隣の養殖池には何がいるの?」という質問もありました。錦ゴイの池でしたが、時には一匹100万円にもなると聞いてビックリしていました。「食べておいしい?」という問いにはみんな爆笑。とにかく皆さんの好奇心の旺盛さには脱帽であります。

さて、一時間ほどしてひとしきり汗をかいた頃、幸か不幸か(笑)、にわか雨に叩かれ、作業は終了。近くの集会所に招かれ昼食をご馳走になりました。ホカホカの新米のおにぎり!なんというご馳走でありましょか。また、郷土料理の王様ともいえるケンチン汁、そしてナスの漬物、エダマメ……。素朴な家庭料理の味は皆さんいかがだったでしょう。何人もの方がお汁のお代わりをしていましたし、おにぎりもアツという間になくなりました。そういえばエダマメを指して「このビーン何?」ときかれ説明が難しかったのですが「ナットウと同じ」ときいて納得されていました。



昼食後は、近くの永昌院というお寺に招かれ散歩しました。こじんまりとしたお寺ですが、お庭もいかにも日本式で学生さんは大変興味深かったようです。住職さんから、竹炭等の製作についてご説明いただいた後、盛んに庭などをバックに写真を撮っていらっしゃいました。全員で記念写真をとった後、3時頃に帰途につきました。いろいろと車中で話している中で、アジアの方がよく持っているイングリッシュネームの話題となりました。私も欲しくなったので「ほくにもつけてください。」と頼んだところ、ある女性が「ブラッド・ピッドに似ているのでブラッドでどう?」とおっしゃいました。もっともだと思いましたのでBradにしました。(つづりはこれでいいのかしらん?)ともかく楽しい一日でありました。また触れ合う機会があれば楽しくお付き合いさせていただければと思います。準備をされた皆さんご苦労様でした。 ※稲刈りを初体験した留学生のレポートが夢っくすHPに英語版、日本語版(酒井卓吉さんに翻訳)で掲載されていますので、合わせてご覧ください。(広報部)



インド母国紹介の講師アミダブさん



↑十五夜キッズサロンの様子です↓



●10月のキッズサロン予定

10月18日(土) 13:30~15:00

内容：読み聞かせと折り紙

牛木陽子さんのところのおじいちゃんが折り紙を教えに来てくれます。

11月は七五三なので、キッズサロンでも子供達に晴れ着を着せて写真を撮ってあげたいと思っています。どなたか衣装を無償で貸して頂ける方がありましたら、事務局または高橋までご連絡ください。

サロン部会

●母国紹介の報告「インドー多様性とダイナミズムの源泉」

10月3日、国際大学で経営学を学ぶアミダブさんを講師にインドの母国紹介を行いました。発表は、コンピューターを使って視覚的にインドの文化、経済、宗教、社会を多面的に紹介する内容で、古代から現代にいたる歴史のなかからインドの多様性が形成されてきた背景がおぼろげながら理解できました。講演の後には、アミダブさんの本場インドカレーを味わいながら、参加者同士の交流が続きましました。当日通訳を担当して下さった野田剛さんのレポート(要約)をご紹介します。全文はHPをご覧ください。

A country of great diversity and vitality India

On October 3, Mr. Amitabh Kumar, a second year IM student, made a presentation on his home country, India. His presentation excitedly lasted for around one and a half hours with a variety of aspects of Indian culture, economy, religion, and society. India, an ancient civilization and a resurgent nation, has great diversity and vitality. The population is over one billion, which is a mosaic of people following different religious beliefs, hailing from diverse cultural backgrounds and speaking a variety of languages. People in India speak different 325 languages. But 18 languages including English and Hindu have been set up as official languages by the Constitution, based on which the country has been divided into 25 provinces. With its rapidly growing economy in the last 10 years, India ranks the 4th in terms of purchasing power parity, a measure of national power. One of the reasons for the rapid growth is that India has a lot of skilled workers especially in IT-related industries. There are various religions in India. Among them are Hinduism (82% of the total population), Islam (11%), Christianity (2%), Sikhism (2%), and Buddhism (less than 1%). Each of these religions has different kinds of gods, clothes, table-manners, etc. A famous social status system, called Carste, still exists although it has been prohibited by the Constitution. Carste has four segments, Brahmins (priests), Kshatriyas (soldiers), Vaishyas (merchants), and Shudras (peasants, black) from above. After he covered a lot of other aspects of Indian culture, ranging from music, instrument, dance, artifact, to distinguished people and Miss Worlds, he treated Indian food, naan with curry to those who had attended the presentation. Every attendee seemed to be full of much diversified Indian culture with a taste of a little bit spicy.

●書道教室

11月15日(土) 13:00~15:00

定員:8名 場所:サロン 参加費:300円

日本美術の一つである習字の体験をしてもらうための企画です。講師は大学時代書道部で活躍していた角江直美さん。夢っくす会員です。書道の歴史を紹介した後、角江さんのお手本を見ながら実際に墨と筆を使って習字にチャレンジしてもらいます。

[問い合わせ申し込みは事務局まで](#)

イベント部会

●松本城と小布施町探索の旅

めっきり寒くなりましたね。秋のバスツアーの季節ですよ。今回は、国宝松本城と昔ながらの町並みの小布施町探索の旅です。定員になり次第締め切りますので希望者はお早めにお申し込みください。

11月2日(日) 国際大学正面玄関集合

7:30国際大学出発→10:00松本城→13:30小布施町探索→15:30出発→17:00大学到着予定

参加費：3,500円(昼食代別)

参加申込み：押見 yukikoo@pastel.ocn.ne.jp

：事務局武田まで

事業部会

●フリーマーケットを開催しました

事業部会の初企画として、冬物衣料を中心としたフリーマーケットを10月11日~17日にサロンで開催しました。100点近い衣料品が集まり、11日の1時間で6300円の売り上げがありました。今後も12月の開催を予定していますので、品物をご提供いただける方、お手伝いいただける方など、皆さまのご協力を期待しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

事業部会：大平智子

事務局：武田



多言語支援部会

●15年度第2期英会話教室開講

10月8日から英会話教室がスタートしました。今回の講師はMs.Valerieさん、Ms.Traceyさん、Mr.Caryさんの3名です。総勢21名で、2/3の方がリピーターです。回数は8回で短いかもしれませんが、1時間半をできるだけ英語だけで話し、そして繰り返し受講し英会話を楽しんでもらいたいとおもいます。

外国語担当：柳瀬陽子

●日本語チューターペアの紹介

坂大英子さん・アイグルさん(キルギス)ペア

今年の春に入会された坂大さんとキルギスにお子さんを残して留学中のアイグルさんとの日本語での交流の様子をご紹介します。

坂大さんは「娘が海外で日本語を教える仕事をしていて、それがどんなものなのか自分でも興味が出てきてやってみたくなった」のがチューターを始めたきっかけ。

日本語担当：おおひら悦子

これまでにあまり知らなかったキルギスの国のことをたくさん教えてもらい、アイグルさんは日本語の上達のはやいので驚いたそうです。お話を伺ったこの日は、坂大さんが次男の結婚式の時の写真を持ってきてアイグルさんに見せていました。長い夏休み中はずっと国へ帰っていたアイグルさん。「日本語を使わなかったのでちょっと忘れてしまいました。でもまた坂大さんに助けてもらって頑張ります。」とのこと。昼下がりの夢つくすサロンで他の会員さんたちにも声をかけられ、まさにコミュニケーションとして生きた日本語を勉強していました。夢つくすでは、ある程度日本語が話せる外国人と会員がペアになって日本語で交流する「日本語チュータープログラム」を実施しています。夢つくす会員なら、特別な資格や英語力がなくてもどなたでも会話パートナーになれます。常時受け付けていますので、お気軽にお申し込みください。



↑アイグルさんと坂大英子さん



↑第2期英会話教室の授業風景

Unique Xperience in life...

12th October 2003, belonged to one of the first time experiences in one's life time, which is "The Hakkai-san" mountain climbing. The day started with little rain added to cold zephyr in the morning, as the Umex volunteers and the IUJ students arrived at the base camp of the Hakkai-san Mountain. The time was 8:50a.m. in my clock. As the very name goes, Hakkai-san, the mountain with eight peaks, rises to the sky with 1778m in height. Our team could conquer only the first two peaks of the mountain as far as the time was concerned and there was the highest peak, in the two peaks we conquered. It was one of the greatest moments of the excursion to travel in the exciting "rope-way" also known as "gondola": up to some extent of the mountain. The surroundings were gorgeous. I have no words to express the surroundings of the mountain due to the wanted color change of the leaves. It was Exquisite!! The orange and the yellow combination of the leaves, common at this time of the year in Japan, makes the whole scene: an exotic drawing done by a nature artist. Yellow leaves of the "Maple tree" was one of the picturesque views caught my eye during our way to the top. The nature is so beautiful.....After the "gondola": on our way to the summit by foot, was quite interesting though the route was muddy and swampy due to the unexpected rain. The closer we became to the peak, the harder the way it was, since we had to use chains at some places to mount ourselves. It was quite risky since a huge slope laid on one side of us. We happened to have our lunch before the peak, the rest we had in the cottage near the peak meant a lot to us. Whilst everyone was so tired after more than two and half hours of climbing, it was a great bliss, gave us with the attaining of the peak of the mountain. The surroundings, covered with white clouds felt me like the heaven..... On our way back to the rope-way station, I felt it was easier going down rather than climbing. As my clock turned 4:15p.m., we depart from the great Hakkai-san Mountain, after a hard day of mountain climbing. The Hakkaisan Mountain will go into my diary as a great memorial and also as the highest mountain I have ever climbed. It was later that evening, when I saw the mountain from the top story of my apartment, I felt so proud, thinking that I climbed all the way up to that peak.....Without a doubt it's a unique experience I had in my life.....

Report by: Ashan

広報部会

●求む！かわらばん編集委員

毎月発行を続け、第15号を迎えた「かわらばん」ですが、2名体制の編集のため、発行日が送れる、原稿落ちがある等々会員の皆さまにご迷惑をかけている状況にあります。そこで編集委員の募集です。原稿依頼はメールでらくらく、編集は専用ソフトの使用により初心者の方でも安心です。会員の皆さまのご協力、お申し込みをお待ちしております。

申込み先：畔上、高津戸、事務局まで

研修部会

●デジカメ研修の案内

日時:10月25日(土) 9:00~12:00
場所:パソコン教室「くりっく」 定員:5~6名
内容: 9:00~10:00 デジカメの基本説明
10:10~11:20 編集作業
11:30~12:00 質問セッション

☆研修目的は「かわら版の充実」、広報部優先、使用機種はUMEX所有のCanon IXYです。

申込み先：研修部会井口まで



10月12日に行われた八海山登山の様子です。英文レポート↑はAshan Jayさん。

スペースの都合で文字が小さくてごめんな



<http://umex.ne.jp>
office@umex.ne.jp



夢っくすカレンダー 2003年 10月

日	月	火	水	木	金	土
12 八海山ハイキング	13	14 夢っくすサロン	15 英会話教室	16 英会話教室	17 夢っくすサロン	18 13:30~15:30 キッズサロン
19	20	21 夢っくすサロン	22 英会話教室	23 英会話教室	24 夢っくすサロン	25 デジカメ研修
26	27	28 夢っくすサロン	29 英会話教室	30 英会話教室	31 夢っくすサロン	11/1
2 秋のバスツアー	3	4 夢っくすサロン	5 英会話教室	6 英会話教室	7 夢っくすサロン	8
9	10	11 夢っくすサロン	12 英会話教室	13 英会話教室	14 夢っくすサロン	15 13:00~15:00 書道教室

会員紹介コーナー 第14回

①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！

会員NO.162 大嶋泰騎さん

E-mail : yaskieno@hotmail.com

- ①今までず〜っとバックパッカースタイルの旅行しかしたことがないので、一度スーツケースを持ってタヒチやモルディブ辺りの豪華ホテルでシャンパンを飲んでダラダラしたい。
- ②フランス語！フランス語圏の方には是非レッスンしてほしい！！
- ③かなり流暢に関西弁を操れる。
- ④Japanese Immersion Camp(留学生達と日本語だけを使って食事作りなどをするキャンプ)やEnglish Immersion Campをやってみたくがでしようか？
- ⑤JICAの青年招聘プログラムのコーディネーターやプログラム中の合宿セミナーの受け入れサポートをしています。
- ⑥六日町のセミナーハウスに勤務しています。週末仕事の為イベントに参加できないことが多く残念です。でも平日だからこそ協力できる活動もあると思います。ぼちぼちやります。



英語だけでなくフランス語も話せる大嶋さん。いつも楽しそうに学生たちと話しているのが印象的です。

●新会員のご紹介

- 174番 上村ちかみさん
 - 175番 立川みどりさん
 - 176番 高橋由加利さん
 - 177番 馬場直子さん
 - 178番 関良仁さん
 - 179番 高橋克次さん
 - 180番 鈴木永蔵さん
 - 181番 瀬下美穂さん
- よろしくお願ひします

事務局だより

●先月から運営委員会、日本語交流員研修会、日本語チューターマッチング会議、フリーマーケット、英会話教室などでサロンをフル活用しています。その結果、学生のみならず会員の皆さんがサロンへ集まる機会が増えてきました。サロンを夢っくす活動の拠点として、皆さんと大切にしていきたいと思えます。

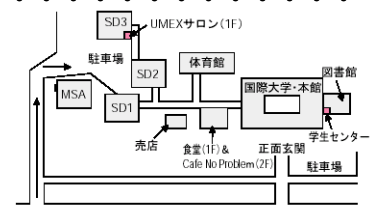
●10月23日夕方から、国際大学新学長山澤逸平さんと運営委員との懇談会が行われます。新事務総長高橋孝雄さんもお同席の予定です。夢っくす活動の今後について、有益な意見交換の場になることを期待しています。

●日本語教室に来日1ヶ月という中国から嫁いで来た方が参加しています。媒介語(英語)を使えないため、担当交流員の方は大変ご苦労をされていますが、何とか上手いやり方を見出していただければと思っています。



うおぬま国際交流協会
UONUMA Association for Multicultural EXchange UMEX

〒949-7277
新潟県南魚沼郡大和町大字穴地新田777番地
国際大学内 UMEX事務局国際交流サロン
TEL:025-779-1439/1520
FAX:025-779-1180
E-Mail: office@umex.ne.jp



[担当者連絡先]
サロン:坂西:025-777-3313 高橋:025-773-3123
広報:畔上:070-5083-8465 イベント:星野:090-4549-6955
押見:02579-2-9329 研修:井口:090-5329-8234
外国語:柳瀬:02579-2-0888 日本語:大平悦子:02579-2-9840
事業:大平智子:025-777-3011 事務局:武田:025-779-1439

[編集後記]

- 国内旅行より海外旅行が安くて海を渡る日本人旅行者の多さに納得です。異国情緒と予想不可の展開を求めてぶらり一人旅。いってきます。(mayumise)
- T部員から引き継いだ編集作業、締め切り間際に乳飲み子をひざに寝かしながらの編集…求む！かわら版編集部員。(aze)